提出順	18	発言順	18	令和 4年 2月 16日 (午前)・午後 11 時 36 分受領

（3 枚中No. 1 ）

２０２２年　２月１６日

安曇野市議会議長　平林　明　様

安曇野市議会議員　臼井　泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　４年安曇野市議会　３月定例会		
発言の方法	■一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	２０分
答弁を求める者	■市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 □総務部　□政策部　□財政部　■市民生活部　□福祉部 □保健医療部　□農林部　■商工観光部　■都市建設部 □上下水道部　□教育部　□他（　　）		
質問事項	気候危機からゼロカーボンの社会変革へ		

質問の要旨（具体的に記載してください）

1　気候危機の現状をどうとらえるか。

2　国と県の気候危機に立ち向かう目標をどのように評価するか。

3　「安曇野市地球温暖化対策実行計画」の改訂版公表の来年度末を待たず、「実施計画策定方針」において示された重点施策の推進のための具体的な取組の重点事業「地球温暖化対策事業」をさらに進められないか。

(1)「長野県ゼロカーボン戦略」の「各地域がそれぞれの資源を最大限活用」することの具体化・市内で独自の再生可能エネルギー（太陽光、小水力）発電事業の地産地消に向けた動きを市内事業者等の力を生かしてつくる。（「長野県ゼロカーボン基金事業」や「自然エネルギー地域発電推進事業」等）

(2)公共交通機関と組み合わせた自転車利用など自転車利用環境を整えるために、自転車が乗りやすい道路環境整備とともに、駅の自転車置き場の屋根設置、公共交通や自転車利用に取り組む事業者を評価・表彰による優良事例の普及促進。

4　脱炭素化、省エネと再生可能エネルギーの推進により、どのような2030年の安曇野市を描くか

提出順	18	発言順	18	令和4年2月16日 午前・午後 11時36分受領

（3 枚中No. 2）

２０２２年　２月１６日

安曇野市議会議長　平林　明　様

安曇野市議会議員　白井　泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　４年安曇野市議会　３月定例会		
発言の方法	■一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	■市　長　□副市長　■教育長　□他（　　）		
	担当部長 ■総務部　□政策部　□財政部　□市民生活部　■福祉部 □保健医療部　□農林部　□商工観光部　□都市建設部 □上下水道部　■教育部　□他（　　）		
質問事項	平和施策の推進について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

1　「平和都市宣言」後の平和施策の評価と今後の方向

(1)安曇野市における戦争の事実を明らかにし、記録保存すること

(2)戦争の事実を学ぶ場

(3)戦没者追悼式並びに平和のつどい

(4)戦争遺跡の保存、活用についての検証、調査

(5)平和事業を担う若者の育成

2　「平和都市宣言」10周年記念事業の計画は

(1)戦争犠牲者の実態を明らかにすること

(2)無くなりつつある戦争資料の収集

(3)来年度を通して「『平和都市宣言』10周年記念」を冠した事業の各部局での実施

(4)これまでの事業を生かし発展させた実施

(5)市民とともにつくりあげる事業

(6)戦争遺跡や遺構、戦争関連地の保存と平和的活用のために説明板の設置

(7)長崎市長の講演会と被爆クスノキの植樹

(8)戦争犠牲者の追悼と戦前の民主主義・基本的人権の抑圧を繰り返さない平和な社会をつくる決意を込めた10周年記念碑の建立

3　平和推進係をつくり、平和施策を進めるとともに、戦争の歴史を伝え、学び、研究する拠点として戦争資料館を造ること

提出順	18	発言順	18	令和 4 年 2 月 16 日 午前・午後 11 時 36 分受領

（ 3 枚中No. 3 ）

２０２２年　２月１６日

安曇野市議会議長　平林　明　様

安曇野市議会議員　臼井　泰彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和　４年安曇野市議会　３月定例会		
発言の方法	■一問一答　□一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者	■市　長　□副市長　□教育長　□他（　　）		
	担当部長 □総務部　□政策部　□財政部　□市民生活部　■福祉部 ■保健医療部　□農林部　□商工観光部　□都市建設部 □上下水道部　■教育部　□他（　　）		
質問事項	新型コロナウイルス感染症対策		

質問の要旨（具体的に記載してください）

1　検査を受けたい人が「いつでも、何度でも、無料で」検査を受けられる体制が緒に就いたものの不十分であるとともに、医療機関や介護、福祉施設、学校で定期的な頻回検査が行われないために、社会経済活動が停滞する状況が続いている。

(1)　安曇野市における検査の実態はどうか。また、それをどうとらえるか

(2)　国・県にいっそう強く働きかけるとともに、市独自でも体制を整える必要性がますます強まっているのではないか。

2　保育園のクラス閉鎖や休園への対応の実態と「代替保育」の実施状況はどうか。

3　小学校の学校・学年・学級閉鎖への対応の実態と、小学校休業等対応助成金の保護者への周知状況はどうか。